

# 小児アレルギー疾患に関するシステマティックレビューに基づく

## 受動喫煙防止への提言

	CQ と 提言	推奨度	エビデンスレベル
	<b>CQ</b> 受動喫煙が小児喘息の発症に關与する科学的証拠があるか？		
1	<b>提言</b> 受動喫煙は小児喘息を發症させる可能性が高いため、受動喫煙を防ぐことを推奨する	1	A
	<b>CQ</b> 受動喫煙が小児喘息の重症化に關与する科学的証拠があるか？		
2	<b>提言</b> 受動喫煙は小児喘息を重症化させる可能性が高いため、受動喫煙を防ぐことを推奨する	1	A
	<b>CQ</b> 受動喫煙が小児の呼吸機能低下に關与する科学的根拠があるか？		
3	<b>提言</b> 受動喫煙は小児において呼吸機能を低下させる可能性が高いため、受動喫煙を防ぐことを推奨する	1	A
	<b>CQ</b> 受動喫煙が小児の咳嗽や痰の發症に關与する科学的根拠があるか？		
4	<b>提言</b> 受動喫煙は小児において咳嗽や痰を増加させる可能性が高いため、受動喫煙を防ぐことを推奨する	1	B
	<b>CQ</b> 受動喫煙が小児のアレルギー性鼻炎の發症や増悪に關与する科学的証拠があるか？		
5	<b>提言</b> 受動喫煙は小児アレルギー性鼻炎の發症と増悪に關するリスク因子であるため、受動喫煙を防ぐことを推奨する	2	C
	<b>CQ</b> 受動喫煙が小児のアレルゲン感作に關与する科学的証拠があるか？		
6	<b>提言</b> 胎児期の曝露により感作が促進される可能性は高くない一方で、乳児期は受動喫煙による抗原感作への影響が大きいことが示唆されるため、受動喫煙を防ぐことを推奨する	1	B

### 提言の解説

受動喫煙と小児アレルギー疾患との関連性を科学的根拠に基づいて明らかにするために、当該領域の重要課題（clinical question：CQ）に関して、報告されている疫学研究などの医学研究論文をシステマティックレビューにより検証しました。

この結果、受動喫煙は小児喘息における発症リスクの増加と重症化および呼吸機能低下、咳嗽や痰の増加に關与し、胎児期の母親の喫煙は小児喘息の發症および出生時からの呼吸機能低下に關連することが示されました。アレルゲン感作についても、受動喫煙は総IgEの上昇と特異的IgEや皮膚プリックテストの陽性化に關係し、特に乳児期の受動喫煙は食物や室内アレルゲン等への感作に有意に關連していました。また、アレルギー性鼻炎の發症と増悪に關するリスク因子であることが示唆されました。

受動喫煙が小児期のアレルギー疾患に及ぼす影響は大きく、受動喫煙から小児を保護することの重要性に鑑み、受動喫煙防止への6項目の提言をエビデンスレベルおよび推奨度とともに発出しました。

- 小児アレルギー疾患に関する受動喫煙防止への提言は下記URLに掲載しています  
URL <https://www.jspaci.jp/about/gakkaikenkai/>

- この提言は、受動喫煙と小児アレルギー疾患に関するシステマティックレビュー〈日本小児アレルギー学会誌 2021;35:152-169〉に基づくもので、その方法や結果、CQ、推奨度、エビデンスレベルの詳細なども同じURLをご参照ください



提言の  
QRコード